

◇新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査まとめ<速報版>◇

公益財団法人日本修学旅行協会

(2022/11/17 訂正)

この調査は 2021（令和3）年度に実施された中学校・高等学校の修学旅行に関するものである。全国の国立、公立、私立の中学校 10,076 校から 3,046 校、高等学校 4,856 校から 3,078 校を抽出してアンケート調査を依頼した。回答は中学校 895 校（回答率 29.4%）、高等学校 930 校（回答率 30.2%）からいただいた。

設置者名	国立	公立	私立	合計
<中学校>				
全国校数	68	9,230	778	10,076
抽出校数	68	2,234	744	3,046
回答校数	15	707	173	895
回答率	22.1%	31.6%	23.3%	29.4%
<高等学校>				
全国校数	15	3,521	1,320	4,856
抽出校数	15	1,750	1,313	3,078
回答校数	3	580	347	930
回答率	20.0%	33.1%	26.4%	30.2%

※回答率は、抽出校に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

- (1) 「修学旅行」の当初計画および実施状況（当初計画、コロナの影響による当初計画からの実施・変更）
- (2) 修学旅行以外の「海外教育旅行」について（当初計画・実施状況、コロナ収束以降の再開意向）
- (3) 「修学旅行」の変更内容
- (4) 中止の場合の判断者
- (5) 変更・中止の理由
- (6) 変更・中止の手数料の有無
- (7) 手数料の負担者
- (8) コロナの拡大がもたらした課題や問題点（自由コメント）
- (9) コロナが今後の修学旅行・教育旅行に影響を及ぼすか
- (10) コロナが及ぼす影響・変化

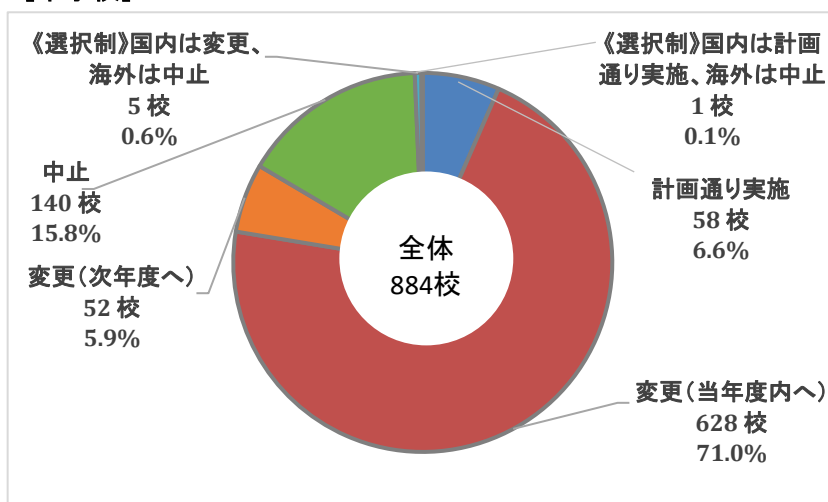
※上記以外に毎年行っている中学校・高等学校の国内修学旅行の実態調査も行った。その結果は、中学校、高等学校それぞれ別掲する。

ここではその一部を抜粋して紹介する。なお他の項目および詳細については、当協会発行の「教育旅行年報データブック 2022」（2022 年 12 月 1 日発行予定）をご覧ください。

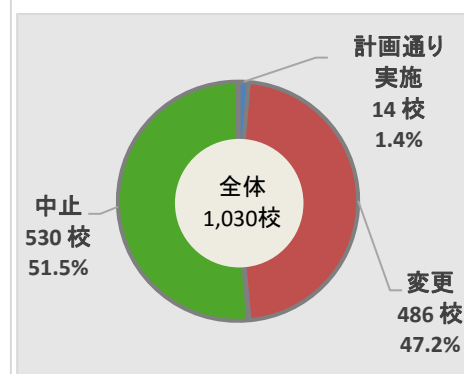
1 「修学旅行」でコロナの影響による当初計画からの中止・変更があったか

※今回は「変更」を「変更（当年度内へ）」と「変更（次年度へ）」に分けた

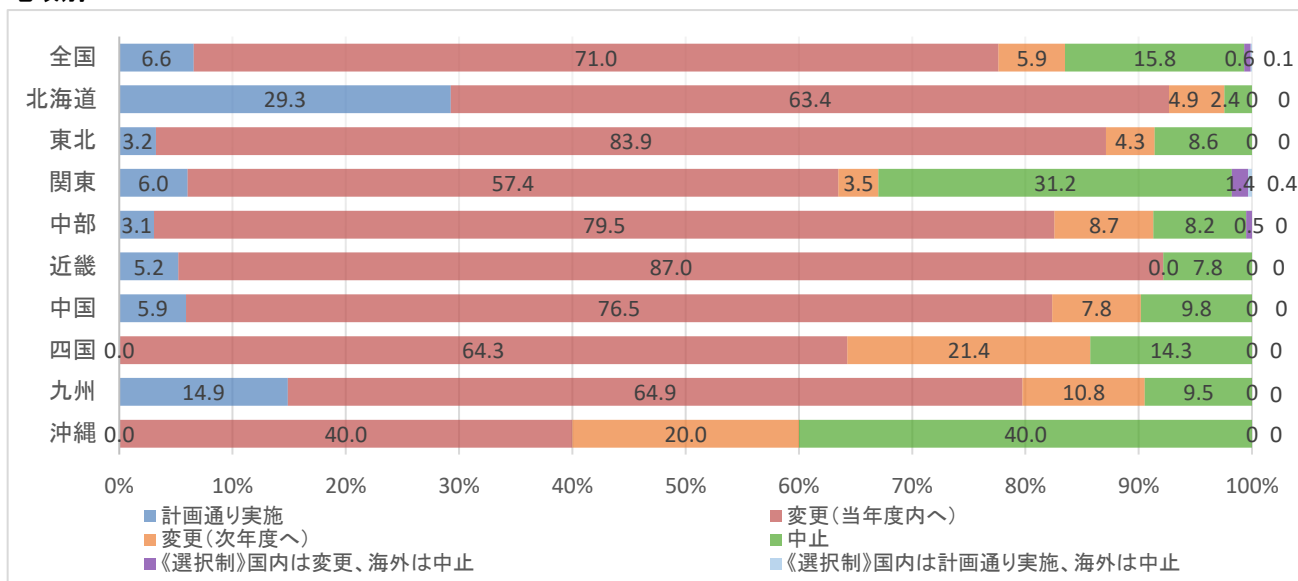
[中学校]



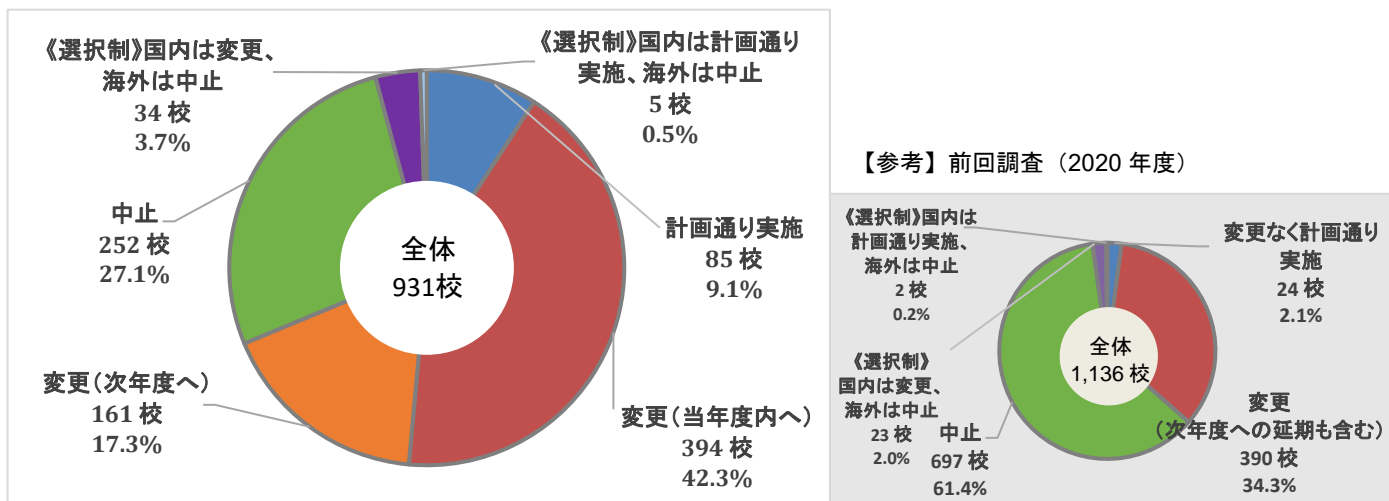
【参考】前回調査（2020年度）



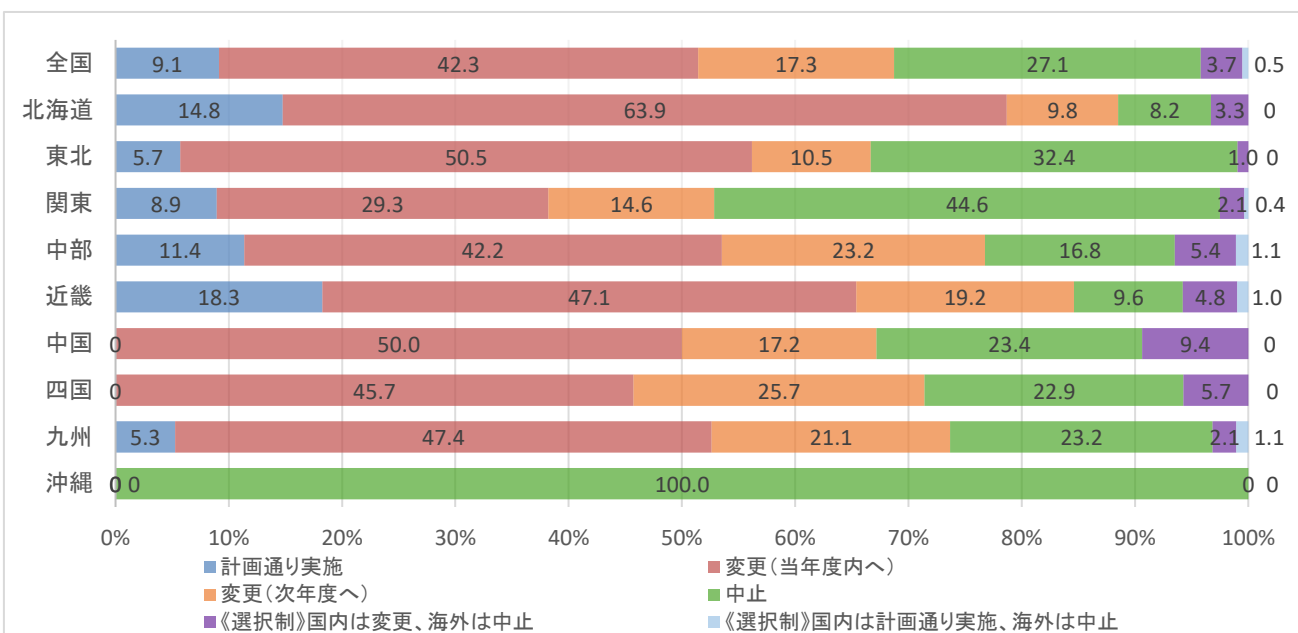
地域別



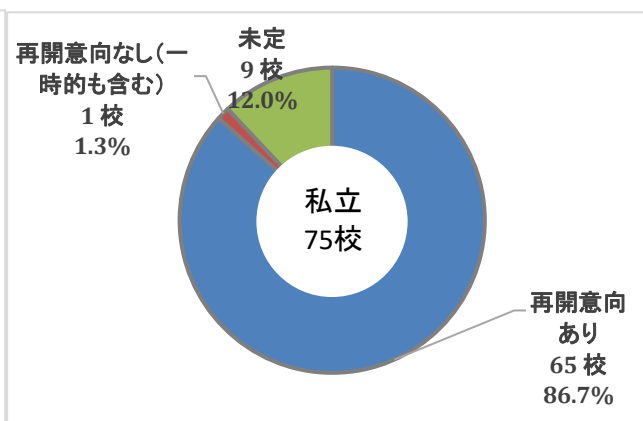
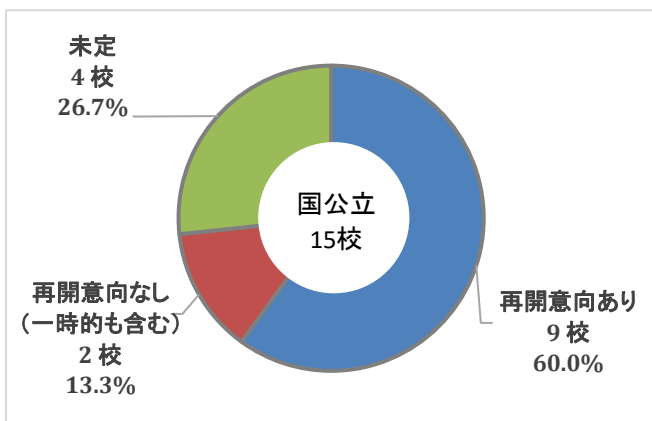
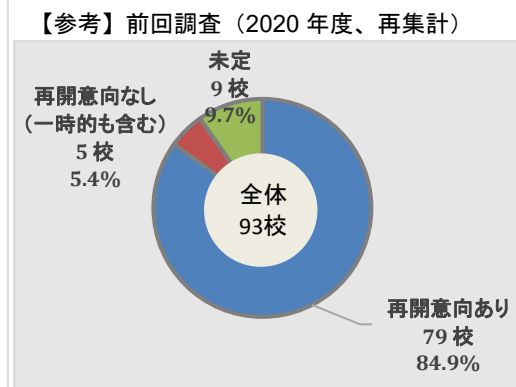
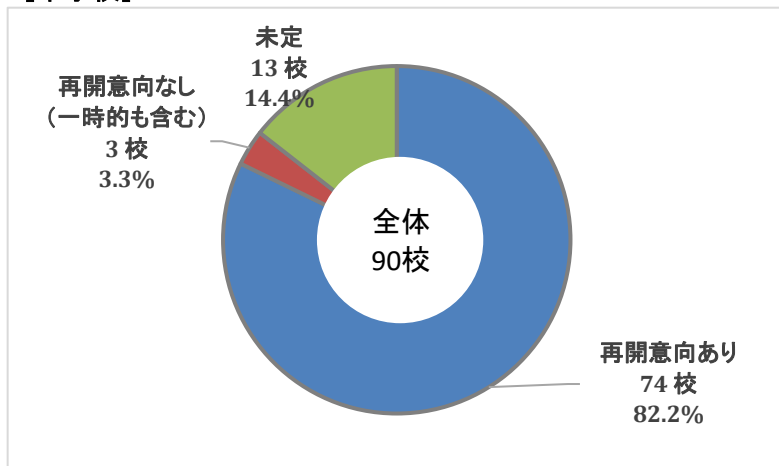
[高等学校]



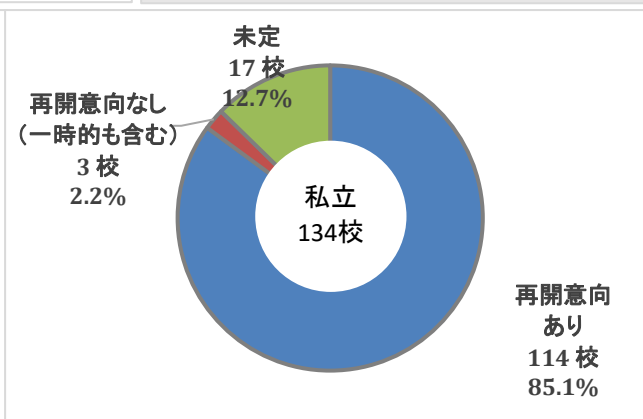
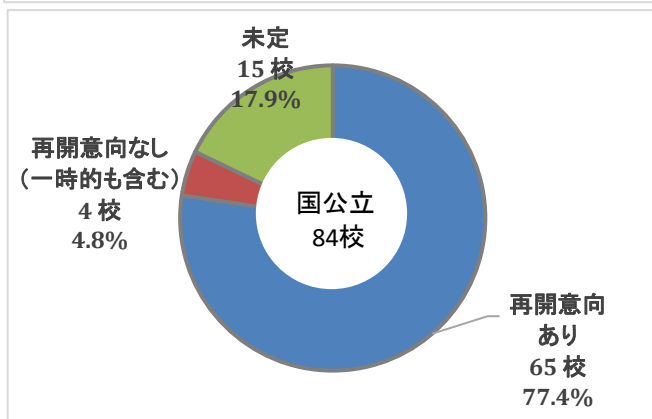
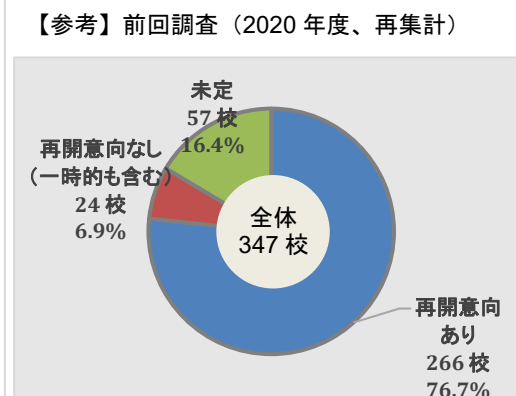
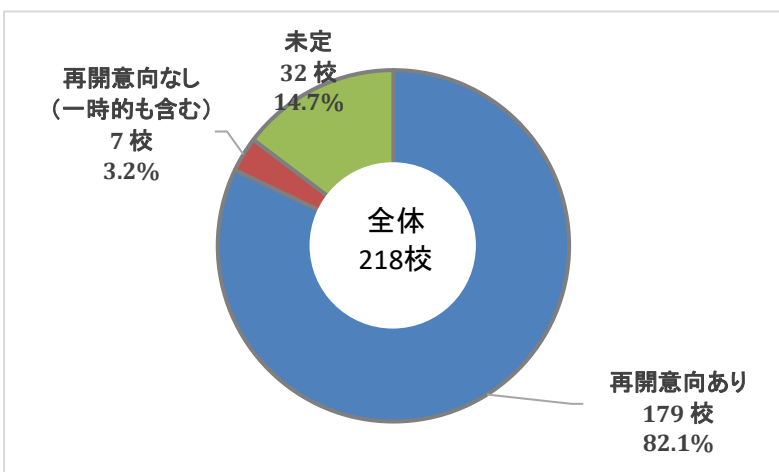
地域別



2 コロナ感染収束後の「海外教育旅行」再開意向 [中学校]



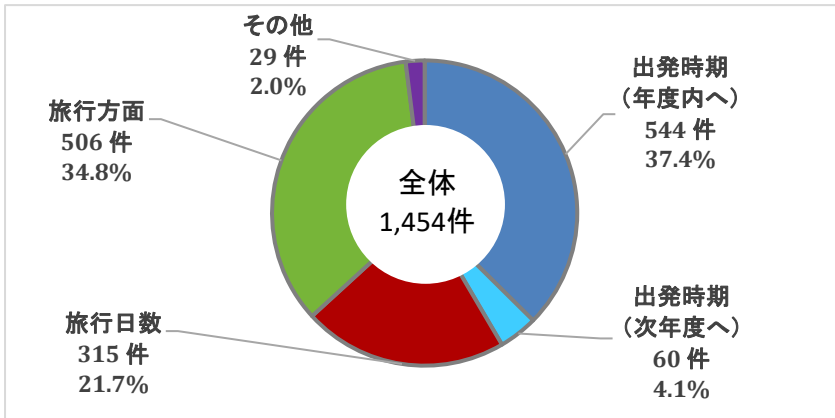
[高等学校]



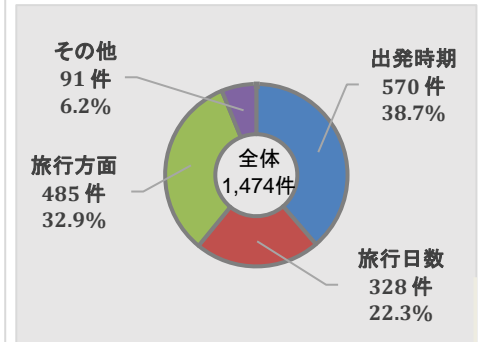
3 「修学旅行」の変更内容（複数回答可）

※今回は「出発時期」を「出発時期（年度内へ）」と「出発時期（次年度へ）」に分けた

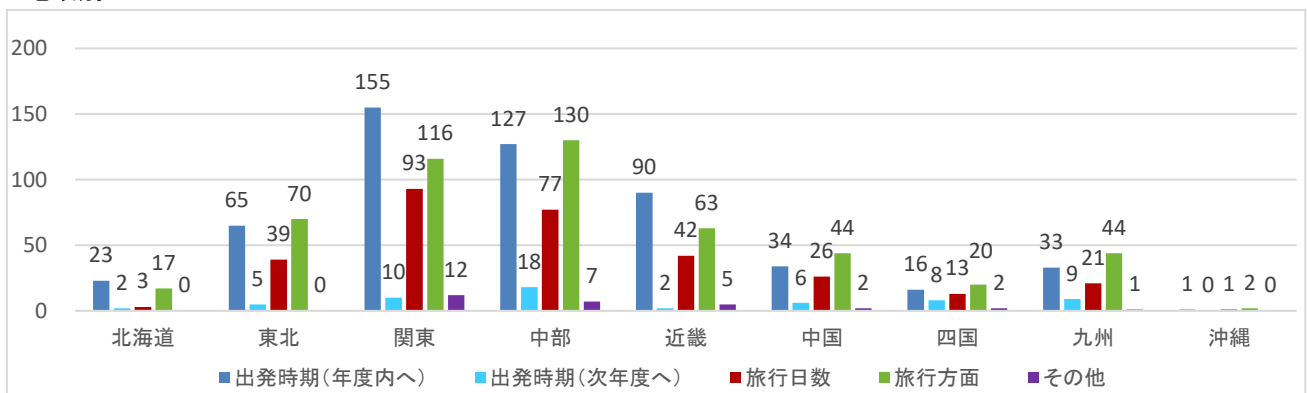
[中学校]



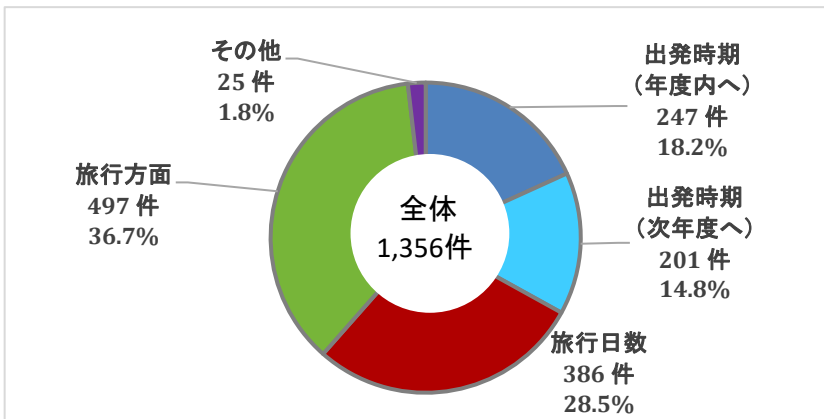
【参考】前回調査（2020年度）



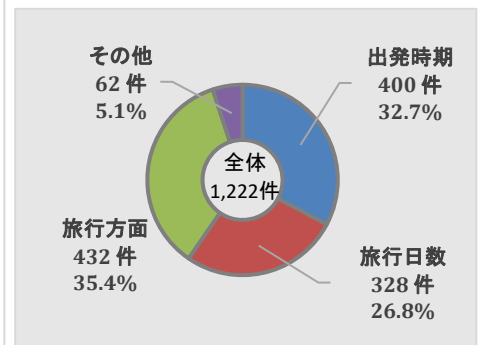
地域別



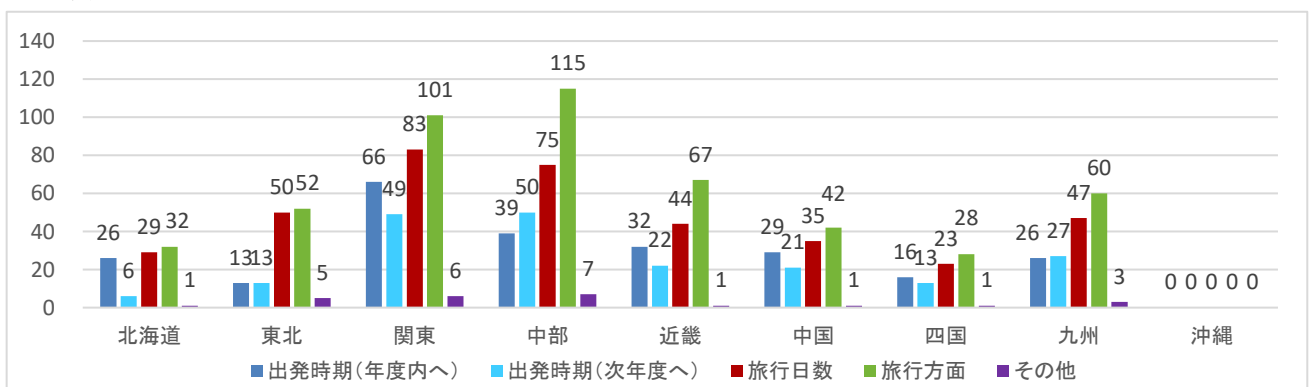
[高等学校]



【参考】前回調査（2020年度）

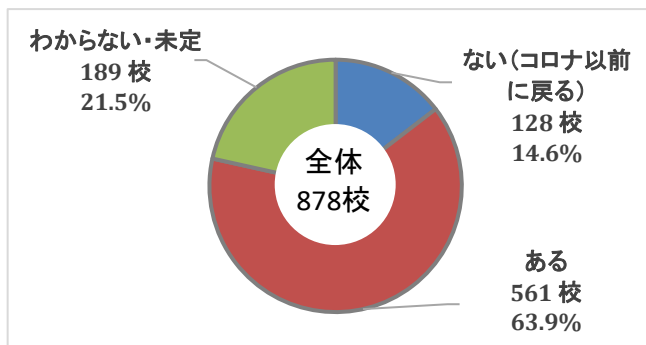


地域別

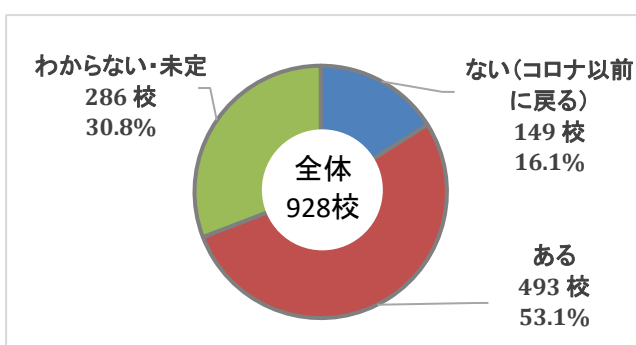


4 コロナが今後の修学旅行・教育旅行に影響を及ぼすか（今回の新項目）

[中学校]

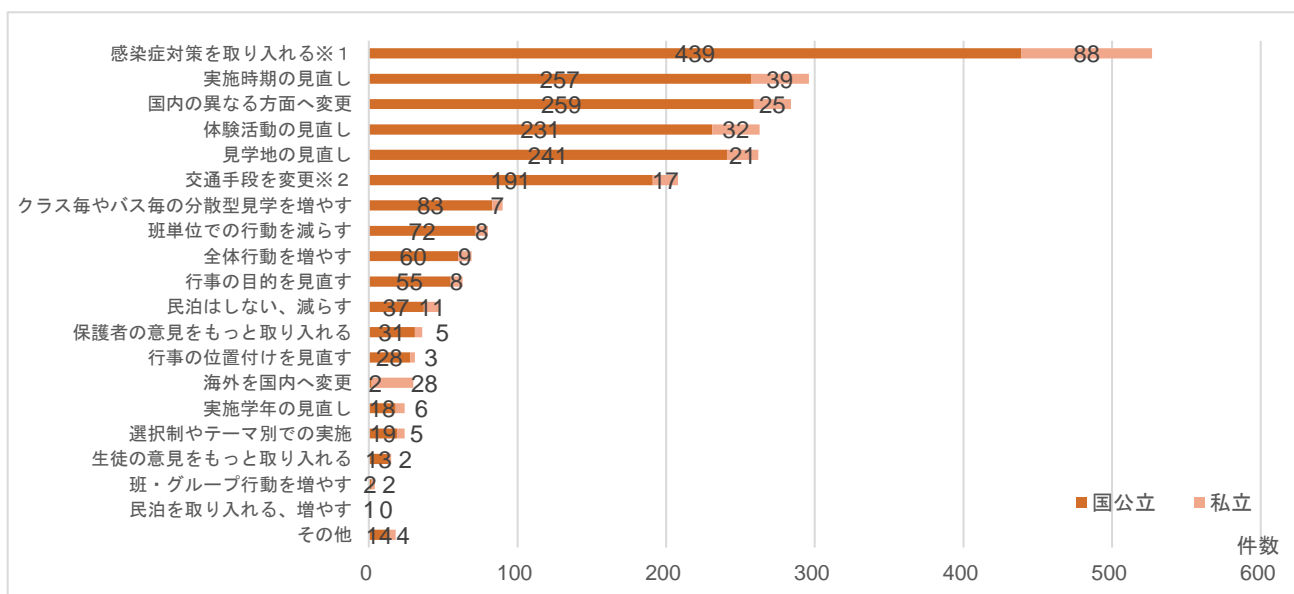


[高等学校]



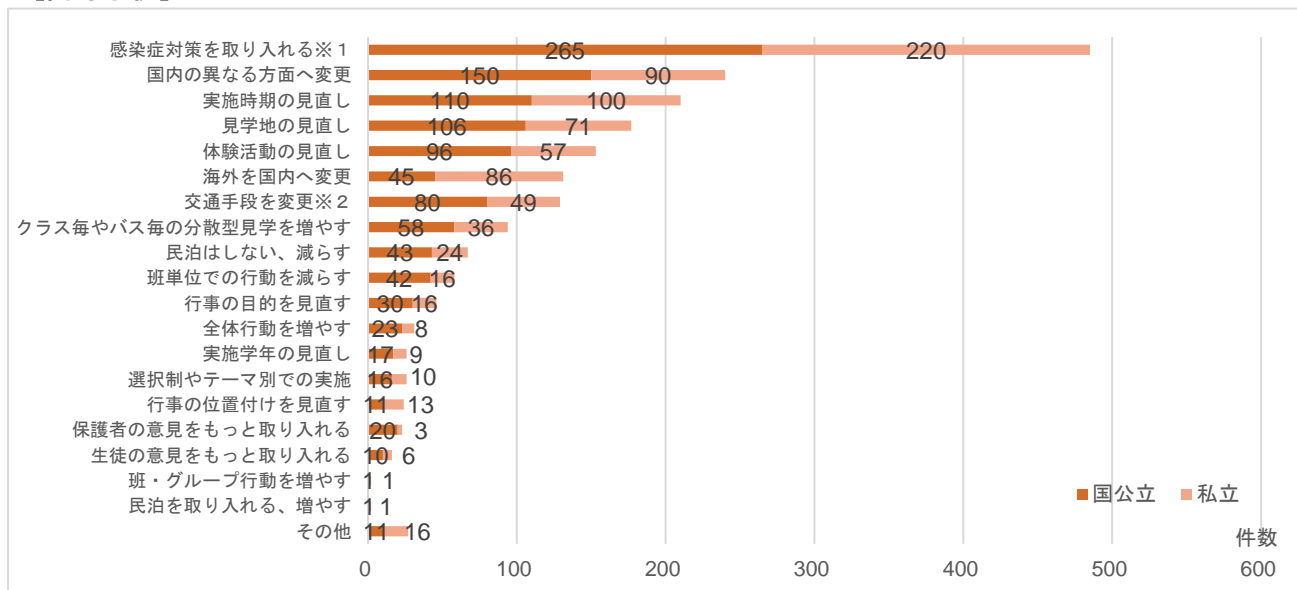
5 コロナによる今後の影響・変化（複数回答可、今回の新項目）

[中学校]



※1（バス台数の増加、部屋数/保健室の増加、保険の加入等） ※2（コロナ前と異なる交通手段を検討）

[高等学校]



※1（バス台数の増加、部屋数/保健室の増加、保険の加入等） ※2（コロナ前と異なる交通手段を検討）